

あすみが丘小学校・大椎小学校田んぼ 2012 草取り編

あすみ小は7月17日、大椎小は7月4日に田んぼの草取りをしました。田植えから約1ヶ月、1～3本植えた苗はしっかり根付き、分けつしながら成長しています。苗だけではなく、畦の雑草は伸びて歩きにくくなり、田んぼの中には苗と苗の間にはコナギという雑草がびっしりはえてしまいました(田んぼの養分がコナギにとられぬようコナギ駆除しないとイケません)。

子どもたちは、苗の成長観察や自然観察をしながら、雑草駆除と畦の草刈りのお手伝いをしました。作業しながら、自然観察しながらいろいろなことを学んだようです。

■大椎小学校

★田んぼの草取り作業をする前に金谷さんから、稲がおうぎ形のように広がる話を聞きました。1本の稲がおうぎ形に分かれて増えていることは想像しませんでした。分かれた稲の本数が3本のものもあれば5本～8本のものもありました。私は今でもそのことが不思議に思うため、今度、調べたいと思いました。そのほかにもいろいろなことを知ることができてよかったです。

★田んぼに行くと、稲が前より大きくなっていき、畦や田んぼの中にたくさん草が生えていたので、びっくりしました。1ヶ月しかたっていないのに、稲の成長が早いなぁと思いました。谷津田で学んだことは、農業は学校で勉強する全部の教科を使うこと、しっかり仕事すること、そして、よく観察することです。次に行く時、どんなふう成長したか、また、自然観察では生き物がどう変わったなどを見るのが楽しみです。だから夏休みにいきたいです。

★田んぼの草取りをしに小山の谷津田に行きました。稲の植えてあるところにはヒメアメンボやシオカラトンボなどの生き物がいました。今回はヒメアメンボがたくさんいたので、少し、おとろきました。自然観察では、カエルやハシリグモが多かったです。今、小山の谷津田の生き物について調べているので、ほかの生き物のことを知りたいです。

★小山町の田んぼに草取りをしに行きました。ここでは、たくさんのお母さん方が手伝ってくださいました。日ざしがきつく、とても暑かったです。しかし、昨日は雨が降ったので田んぼの畦はとてもやわらかく歩きやすかったです。この間植えた苗がとても伸びていたため、よかったです。1本で植えた苗が何本かに増えて、せんす型に広がっていたのを見られてよかったです。みんなで草取りをしっかりやって、おいしいお米にしたいです。

★私は自然観察でいろいろな生き物に会いました。田植えに行ったときとは違いました。耳をすますと、鳥の鳴き声がいっぱいひびいていることに気がきました。カエルが前よりもいっぱいいました。カエルをつかまえようとしたけど、逃げてしまい、おたまじゃくしにも逃げられてしまい、つかまえられませんでした。何回もつかまえようとしたけど、逃げてしまって一匹もとれませんでした。くやしかったです。

★前回、自然観察に行った時にはホトケドジョウをつかまえたので今回も！と思ったのですが、つかまえられませんでした。ほかにはアメンボ、クモ、おたまじゃくし、カエル、アメリカザリガニ、サワガニなどがいました。私は友達とカエルをとっていました。湧き水はとてもキレイでした。ホトケドジョウはいるかなぁと思ってさがしてみたけど、いませんでした。今度はつかまえられるといいです。

★ぼくは自然観察で、田植えのときとの違いを感じました。まずは虫。トンボの種類が違っていたり、ヤゴのぬけがらがたくさんありました。次は稲。1本植えた苗がせんす型に広がっていたり、3本植えたものはツボ型になっているのを観察しました。このように虫や自然といったものの変化や成長を観察し、新たな発見をしたいと思いました。

★ぼくはおたまじゃくしが大好きです。手のひらにのせるとぴちぴちというのがかわいいなぁと思います。足がはえ、しっぽが短くなったおたまじゃくしが田んぼにたくさんいて、つかまえようとしても、逃げられてしまいました。おたまじゃくしがりっぱなカエルになるといいなぁ。

★私は自然観察で多くの植物や生き物の変化に気がきました。田んぼの中にはたくさんの草がはえていました。生き物も、田植えのときに田んぼの中にたくさんいたおたまじゃくしも、少なくなり、小さなカエルを



草取りの様子 (撮影 大友 祥)

たくさんみつけました。また、暑くなったので、たくさんのトンボやチョウ、いろいろな種類のクモなどが活発に動いていました。稲刈りで、谷津田に来た時にはどんな変化があるのか、楽しみです。

■あすみが丘小学校

★新しい植物の発見

久しぶりに田んぼを見たとき、稲が何十センチものびているし、雑草がたくさんあってとてもびっくりしました。私は今までコナギは引っこ抜いてあぜ道に捨てるのかと思っていました。けれど、足で中にうめても良いと聞いて「あ〜」と感心してしまいました。ふみながら田んぼの中を進んでいくのはけっこう楽しかったです。終わってから「あのコナギは栄養満点だからおいしいよ。」と言われて食べてみたいと思いました。自然観察の始め、左側に小さなかわいい葉があったのでとってにおいをかぐとすっきりとした、いいにおいがしました。それはミントでした。今しか発見できない植物を発見できたので良かったです。

★オニヤンマは大きい

ぼくは、7月17日にあすみ田んぼに行きました。苗は田植えをしたころとくらべるとずいぶん大きくなっていて、雑草もいっぱいはえていました。そして、自然観察のときに自然観察担当の竹田さんが大きなオニヤンマをつかまえていました。他にもヤゴやたまごつきのザリガニやシオカラトンボ、イトトンボなどがたくさんいました。前に行ったときはザリガニやメダカなどがいっぱいいたのに、今回はあまり見つけられませんでした。竹田さんがつかまえたオニヤンマは目が大きくてあごも大きくて色がふみきりの棒みたいでかっこよかったです。



★自然観察

自然観察がはじまったとき、先生がどんなのでもはかれる温度計を持っていました。みなみさんとその温度計を借りて、いろんな土や空気をはかりました。私はみなみさんに「次貸して。」と言いました。私は、水をはかって「たぶんこの水つめたいんじゃないかな〜。」と言いました。先生は「そうだよ、この水は冷たいよ！でもあっちのイスがおいてある所はもっと冷たいよ。」と言っていたので、さっそくその所に行きました。その水はすごく冷たくて気持ちよかったです。「山から流れている水だよ。」と先生は言っていました。砂もあってさらさらでした。この水はそのまま飲めて冷たくて売れそうなくらいでした。私はその水が気持ちよくて、気持ちよくて持って帰りたいくらいでした。私は、自然観察が終わるまでその水をさわっていました。やっぱりこの水と別れるのはいやだなあーと心の中で思いました。この水をもっともっとさわりたいし、もっともっと近くに流れないかなあ、とっていました。私の今日も一番の思い出はこのきれいな新鮮な水です。

★暑かったけれどまたやりたいな、田んぼの草取り

私は、3回目のイベントの草取りをやりました。田んぼに入る前はすごく暑くて、早く入りたいなあと思いましたが、入ると意外に深かったので、大丈夫かなと思ってしまうほどでした。そうして少し土の中を歩いていると、今度はすごい深いところまで来てしまっていることに気が付きました。前に進もうとしても、足が土から離れなくなってしまい、大変なことになってしまいました。急いでお母さんたちが助けてくれたので、ほっとしました。もう一回やりたくてすぐにまた行きましたが、時間が来て、終わりになってしまいました。8月にまた参加したいです。

★かわいそうなコナギ

今日、紅組と白組に分かれて、順番に自然観察と田んぼの草取りをしました。私は最初に草取りをしました。はじめはとても楽しみでした。でもやりはじめたら、金谷さんが苗の成長をさまたげるやっかいな草と言っていた「コナギ」がなんだかかわいそうに思えてきました。コナギだって生きているのに苗のためにふみつぶされたり、ぬかれたりして、なんだかコナギたちが「ふみつぶさないで!!」と言っていたり、「お願い!!やめて!!」と言っているように見えてきました。楽しみにしていた私は、なんて愛のない人間なんだろうと思いました。でも苗のためなので、心の中で「ごめんね、コナギさん。でも苗のためなの。」と言いながらぬいたり、ふみつぶしたりしました。ごめんなさい、コナギさん。さようなら。





里山たんけんレポート

第 150 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2012年7月1日(日) 晴れ

生きもの好きの男の子が二人加わって生きものの記録をしているから見つけたら教えてと言ったところたくさんの虫を見つけて教えてくれました。今年も赤とんぼではノシメトンボが圧倒的に多く僅かに1頭マユタテアカネがこどもの網に捕らえられただけでした。シュレーゲルアオガエルの子ガエルは林縁のあちこちの木や草の葉の上にちょこんとのっていました。目の前に来る餌になる虫を待っているのでしょう。

ハイライトは満開のサンゴ樹とちょっと盛りは過ぎましたがまだ咲いているクリの花で、チョウ・甲虫・ハチ・アブハエの仲間など様々な虫がいっぱい見飽きませんでした。中には青い色の美しいカミキリムシもありました。写真を後で調べたところ「アオカミキリ」で、ここでは初記録でした。谷津を一巡して戻った山のクヌギではコクワガタ、ノコギリクワガタがいて子供たちは大喜びでした。

ウグイス、ホオジロが囀り、ホトトギスは雄と雌が大きな声で鳴き交わしている中での観察会でした。

(参加者 大人8名、大学生1名、こども2名； 報告：網代春男)

第 136 回 下大和田 YPP「畦の草取り」

2012年7月21日(土) くもり

時折、弱い雨が降る天気でしたが、この季節は晴れると厳しい暑さになるので、草取り作業にはかえってちょうどよい陽気でした。梅雨の間にぐんぐん伸びた草が畦を覆っていました。最初に刈り払い機でひと通り刈ったあと、鎌を使って田んぼの水際などをみんなでていねいに刈りました。子どもたちも軍手をして鎌を使いましたが、説明を守って気をつけて作業したので大丈夫。畦が終わってから田んぼの中の草取りもしました。6月に草を取っているのですが、取り残した場所はコナギやヘラオモダカなどが大きく育っていて、稲の生育に影響しているところもありました。伸びた稲の間に入っての草取りはなかなか大変ですが、泥んこになりながらきれいに草を抜きました。



草取りをしていると前回同様、カメに何度か出会いました。イシガメやクサガメが泥の中から出てくると子どもたちが集まってきて、歓声が上がります。作業をしながら貴重な生きものにふつうに出会えるのは谷津田ならではの体験です。

みなさんのおかげで田んぼはすっかりきれいになりました。もうじき出穂の季節を迎えますが、草取りをしたのでお米がしっかりと実ってくれることでしょう。お疲れさまでした。

カメと一緒に、ポーズ→
(撮影：田中正彦)

(参加者 大人13名、小学生6名、幼児4名； 報告・写真 高山邦明)

第 82 回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

2012年7月14日(土) くもり

6月の下旬ようやく田植えを終えた小山の田んぼの次の作業は草取り。梅雨の間に稲と一緒に雑草もしっかり育っていて、稲株の間にコナギなどがびっしりと生えていました。雑草の多さにどこから抜いたらいいのか戸惑ってしまうほどでしたが、稲の背が低いところをまず抜いて、稲の生育を助けてあげることにしました。抜いた草は田んぼのところどころに小山にしてまとめておき、雑草の栄養が田んぼに戻るようにしました。少人数での作業でしたが、田んぼがだいぶすっきりときれいになりました。



作業を終えてひと息ついていると上空をオニヤンマが飛んでいるのが見えました。いよいよ本格的な夏がやってきますね。稲のますますの生長が楽しみです。

(参加者：大人8名； 報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月 1日 オオシオカラトンボが田んぼで産卵していた。オモダカが開花（高山）
- 7月 4日 田んぼの上をウスバキトンボの群れが飛び（金谷）
- 7月 9日 ニイニゼミが鳴き始める（高山）
- 7月 14日 オニヤンマが羽化、チョウトンボが田んぼにやってきた（松下ほか）
- 7月 28日 コシヒカリや黒米が出穂していた（柳町）

下大和田

- 7月 11日 ニイニゼミが鳴き声を今シーズン初めて聞いた。森の手入れ平日コース中アズマヒキガエルが2匹出てきた（網代）
- 7月 21日 カントウヨメナやイヌタデなど秋の草花が開き始める。コガネグモが網を張っていた（高山）

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第137回 下大和田 YPP「かかしづくり」

みんなで力を合わせて、かかしを作ります。大人も子どももみんなでアイデアを出して、思い思いのかかしを作ります。

- 日時：2012年8月18日（土） 10:00～14:00 小雨決行
- 場所：千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）
- 集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00（JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行き）のちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円
- 持ち物：弁当、飲み物（暑い季節なのでたっぷり）、もしあればかかしに着せる古着・帽子・手袋など、長靴、軍手、敷物など。
- 参加費（資料代等）：ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
- 主催：ちば環境情報センター 共催：ちば・谷津田フォーラム

▼第152回 下大和田9月の谷津田観察会とごみ拾い

秋の花々、バッタやキリギリス、コオロギの活躍の季節になってきます。ちいさな秋を見つけながら谷津を散策します。

- 日時：2012年9月2日（日） 観察10～12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行
- 場所：千葉市緑区下大和田谷津田（下大和田 YPP に同じ）
- 集合：下大和田 YPP に同じ
- 持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
- 参加費：100円（小学生以上、資料代など）
- 主催：ちば・谷津田フォーラム 共催：ちば環境情報センター

▼第83回 小山町 YPP「かかしづくり」

稲穂が生育するこの季節、かかしを作って収穫までの間、田んぼを守ってまいりましょう。

- 日時：2012年8月26日（日） 10:00～12:30、小雨決行
- 場所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）
- 持ち物：飲み物（暑いのでたっぷり）、もしあればかかしに着せる古着・帽子・手袋など、長靴、帽子、軍手、敷物
- 参加費：100円（小学生以上、資料代など）
- 主催：ちば環境情報センター

編集後記 去年は昆虫や野鳥などが記録的に少なく心配したのですが、今年は例年どおりにいろいろな生きものが見られています。トンボは春のシオヤトンボにはじまり、順番にいろいろな種類が姿を現し、この季節は大きなオニヤンマと真っ赤なショウジョウトンボが目立っています。田んぼではあちこちでナガコガネグモが稲の間で網を張っています。子どもを連れたツバメも田んぼにやってきます。暑さの中、いつもながらの谷津田の生きものたちのにぎわいはほっとさせてくれる光景です。 （高山 邦明）